

平成15年9月5日  
中国電力株式会社

## ERPパッケージを活用した経営管理システムの運用開始について

当社は、平成13年10月、電力自由化の進展に伴う競争激化等の経営環境の変化に対応し、利益創出意欲の高揚、経営資源の最適配分を行うため、事業本部制の採用を柱とする組織見直しを行うとともに、事業本部ごとの収支管理を導入しました。

このたび、収支管理をより有効に機能させるため、ERPパッケージ<sup>(注1)</sup>を活用した経営管理システムを開発し、9月8日から運用開始することとしましたのでお知らせします。

この経営管理システムの導入は、システム面からの支援を目的に、平成13年7月に設置した経営管理システム開発室において、中期経営計画、経理、資材分野における従来のシステムの総合的な再開発およびデータ基盤の整備について検討を進めてきたものです。このたびの運用開始は、中期経営計画の策定業務に関して準備が整ったことから、他の分野より先行して運用を開始するものであり、平成16年4月には、中期経営計画の策定業務以外の実績把握・分析業務等や、経理、資材業務に運用を拡大する予定です。

(注1)ERPパッケージ

ERPとはEnterprise Resource Planningの略で、「企業全体の経営資源を有効かつ総合的に計画・管理し、経営の効率化を図るための手法・概念」を意味する。ERPパッケージは、業務プロセスを組み込んだ統合ソフトウェアパッケージ。当パッケージを導入することで、企業における生産、販売、人事、会計、資金、原価などの部門システムを一つの統合的なシステムに再構築することで生産性向上を目指す。

以上

[【経営管理システムの概要】](#)

## 【経営管理システムの概要】

### 1. 経営管理システムの概要

今回導入する経営管理システムは、業務系基幹情報システムと経営分析機能を充実した情報系支援システムで構成しており、既存システムと連携させて活用します。

#### (1) 業務系基幹情報システム

中期経営計画分野、経理分野、資材分野における基幹業務を、ITを活用し効率的に行うシステムです。各分野における活用は以下のとおりです。

##### a. 中期経営計画分野

- ・各部門・事業所別の財務諸表作成やリアルタイムの予算実績管理機能の提供
- ・多面的なコスト分析に必要な詳細情報の提供

##### b. 経理分野

- ・月次・四半期決算機能の提供
- ・経営管理に必要な会計データの詳細化と迅速な提供

##### c. 資材分野

- ・調達業務の効率化に向けたインターネットEDI<sup>(注2)</sup>の活用
- ・調達価格低減のための多様な発注方式の提供(リバースオークション等)

(注2)EDI

EDIとはElectronic Data Interchange(電子データ交換)の略で、インターネットなどの通信回線を使って取引先に注文するなど、電子データにより商取引を行うこと。

#### (2) 情報系支援システム

経営戦略策定のスピードアップを目的に、各部門・事業所での目標達成状況をビジュアルかつ迅速に表示・分析するシステムで、PDCAサイクルを支援します。

## 2. システムの運用開始時期

(1) 中期経営計画分野(予算実績管理機能のうち計画策定業務)

平成15年9月8日

(2) 中期経営計画(計画策定業務以外の実績把握・分析業務)・経理・資材分野

平成16年4月までに順次

## 【参考】ERPを活用した経営管理システムの導入範囲

